

さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数663名 学級数25

今年もどうぞよろしく申し上げます

校長 あさだ 浅田 しゅんすけ 俊哉

厳寒の折、保護者の皆様、地域の皆様には、お健やかに新年を迎えられたことと存じます。昨年は、元日に能登半島で地震が発生し、穏やかでない年始であったように覚えています。今年は、元日に自宅近くの神社に初詣に出かけ、「どうぞ今年は大きな災害が起りませんように」と願いました。巳(へび)年は復活と再生のシンボルとして縁起のよい年とされています。能登地方等被災地域の復興を願うとともに、宮前小の子どもたちには、へびが脱皮をするように、殻を破り、一段と大きく成長していく1年にしていってほしいと願います。そのためにも、児童一人ひとりに温かく、時に厳しく声をかけ、寄り添いながら、指導、支援に取り組んでまいります。

昨年度末に職員の健康診断のために学校医の内科の先生に来校していただきました。その折に、先生がお話しされた一つに、「インフルエンザの患者さんが増えている。今季は予防ワクチン注射をしても感染する患者さんが少なからずいる。この冬はインフルエンザが流行りそうだ。」ということでした。実際のところ、埼玉県の12月16日から12月22日の流行状況(現在これが最新公表データ)を見てみると、患者数は13,326人、定点当たり51.06人と昨年の値を大きく超える勢いで増えています。感染は人の集まる場所で起こります。我々がコロナ禍で学んだことは、だからお家でおとなしくしていましょうだけではなく、感染対策を十分に行ったうえで参集し、対面で交流し、教育活動を行いましょうということだったと思います。コロナ感染症がインフルエンザ感染症と同類になっても、感染症が猛威を振るう季節は、そのコロナ禍で培った感染防止対策をしっかり実践して乗り切りたいものです。手洗い、手指の消毒をこまめに行い、咳やくしゃみが多い時、体調が思わしくない時などは、マスクを着用するなどして感染を防ぐようにしたいものです。

さて、11月30日(土)創立50周年記念式典開催の日、午前中の「善ちゃんのサイエンスショー」は、保護者の方にも鑑賞いただき、子どもたちとともに大いに盛り上がりました。子どもたちにとっても創立50周年のよい思い出の日となりました。午後からの記念式典は、さいたま市長、教育委員会教育長、西区長、そして、学校関係の地域の皆様にもご参列いただき、盛大に行われました。来賓の方々が在校生代表で参加した6年生をととても立派な態度で臨んでいたと褒めてくださいました。夕刻からの祝賀会も地域の皆様はじめ多くの方に参加していただき盛会に終わりました。記念式典実行委員会の皆様に、そして、ご協力いただいた地域、ご家庭の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

3学期が始まりました。学校生活でのリズムを整えつつ、充実したまとめの学期となるようにしていきたいと思っております。令和7年も引き続き、ご理解ご協力をお願いします。